

CITY OF YOKOHAMA

新たながん対策の取組

子宮頸がん検診無料クーポンを21～24歳へ拡大
横浜市がん対策推進企業助成金の開始
メタバースを活用した小児がん交流支援の本格展開

2025年6月30日
市長定例記者会見



横浜市

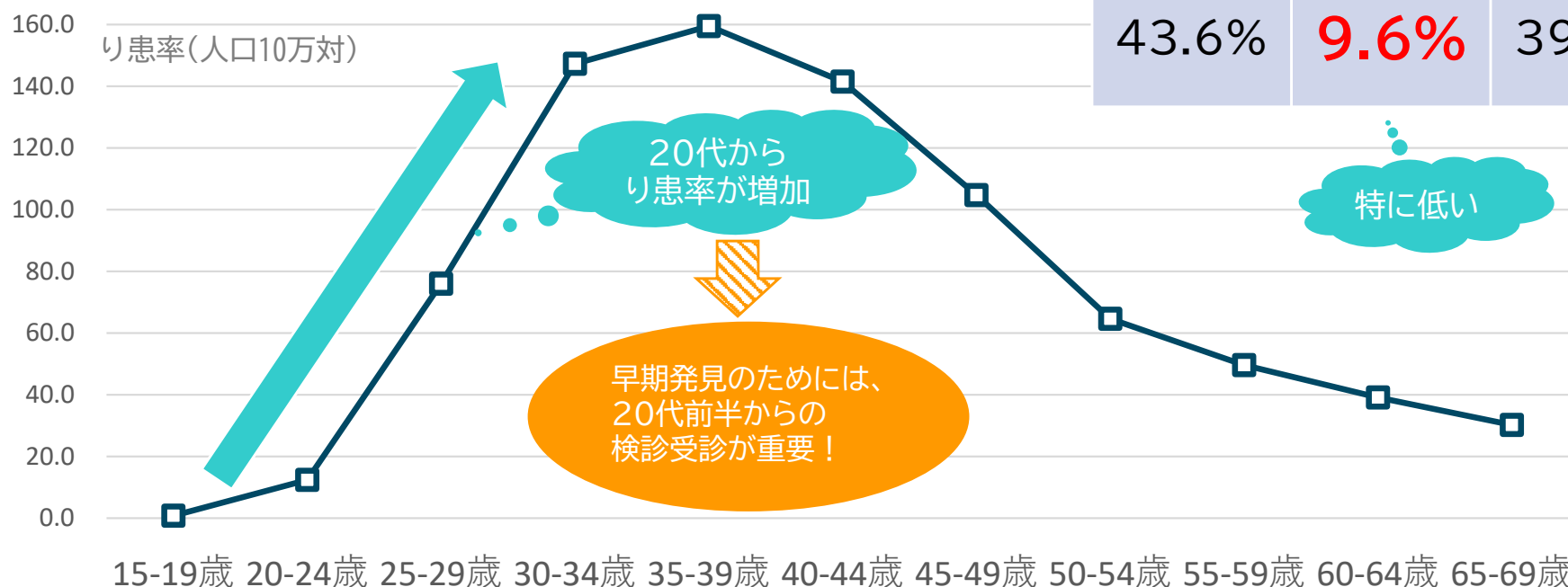
1 子宮頸がん検診無料クーポンを21～24歳へ拡大

20代から子宮頸がんのり患率が高くなるが、
20代前半の検診受診率は低い

受診率**10%**(現状) ➡ **60%**(目標)へ

がん検診受診率(子宮頸がん)

全体	20-24歳	25-29歳
43.6%	9.6%	39.0%



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録2021(上皮内がんを含む)）を基に作成、がん検診受診率：令和4年国民生活基礎調査(横浜市区分)

1 子宮頸がん検診無料クーポンを21～24歳へ拡大



子宮頸がん検診無料クーポン（圧着はがき）

これまで
検診開始年齢の
20歳の女性（約1.8万人）

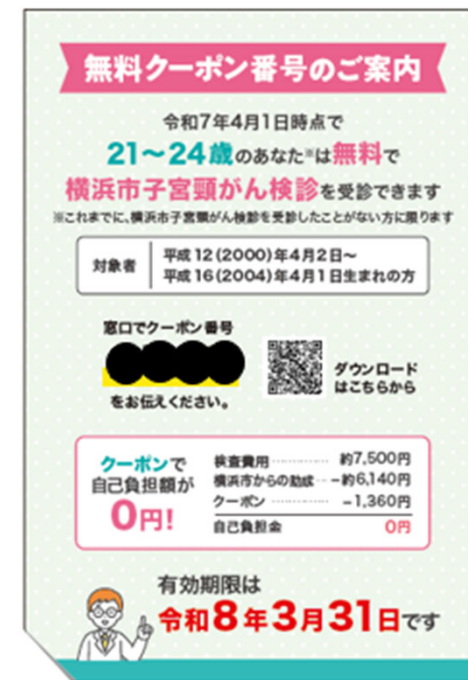


新たに
21～24歳の女性（約7.3万人）

計9.1万人



表面

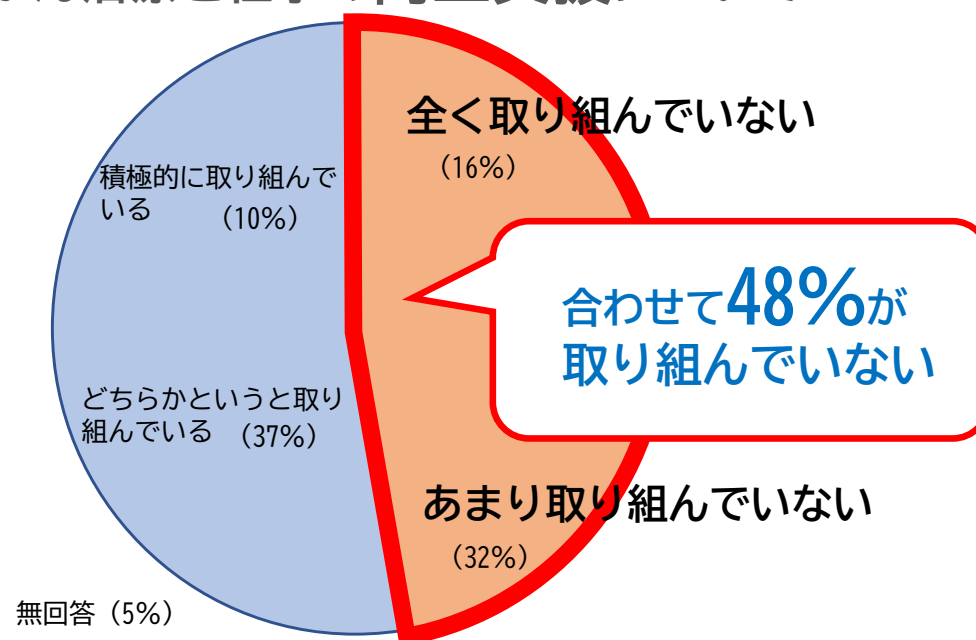


内面

クーポン番号を
伝えて無料に！

2 横浜市がん対策推進企業助成金の開始

市内事業所の がん治療と仕事の両立支援について



約半数が取り組めていない

【出典】令和4年度実施
「横浜市がん治療と仕事の両立に関する事業所調査」

2 横浜市がん対策推進企業助成金の開始

新たに

市独自の助成金 **最大10万円**

目指す姿

- ・ 全ての事業所が **がん治療と仕事の両立支援に取り組んでいる**
- ・ がんになっても **身体的・経済的な負担が軽減されている**

① 就業規則改正コース **必須** 5万円

② 職域がん検診受診推進コース 5万円

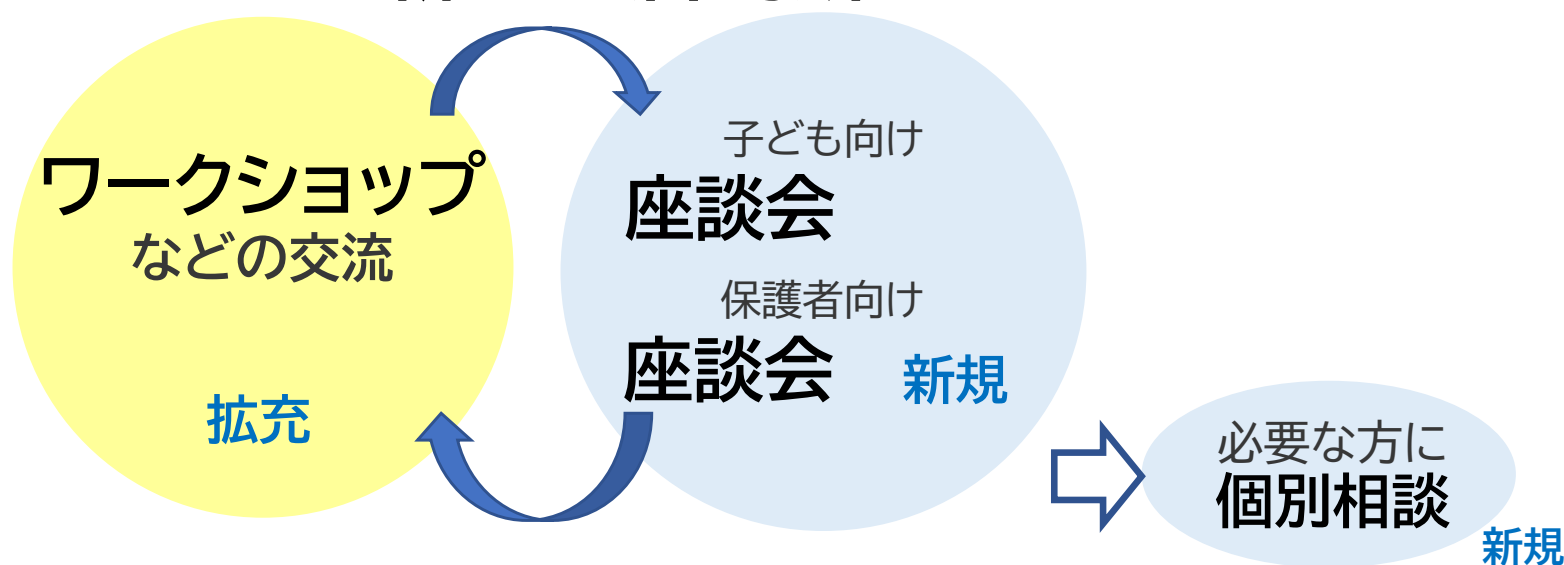
①と②の両方取り組むと10万円

企業の皆様の両立支援の一步を後押し

3 メタバースを活用した小児がん患者交流支援の本格展開

小児がん等と向き合う子どもたちが安心して過ごせる

“新たな居場所”づくり



メタバース空間の運用支援 新規

団体等への運用支援による、メタバース体験のきっかけづくり

3 メタバースを活用した小児がん患者交流支援の本格展開

テーマを設けたワークショップの開催

【第1弾】「ルナクラフト」を活用した交流（横浜市とJAXA宇宙教育センターの共催）



日時

7月29日
13:30～15:30

対象

小児がん等の
お子さん
30名

参加方法

①オンライン
②市役所会場